

Good morning, everyone.

It is about a month since the entrance ceremony. How is your school life?

Are your studies and club activities going well? I hope you will study hard, be independent in your own lives, and have intellectual curiosity.

- 新年度が始まり1か月が経過した。新しい学校生活は順調ですか。先日1年生の立志式があった。それぞれが自分の「志」を述べて、皆立派だった。また、2・3年生も、かつて立志式を行ったことを思い出し、改めて各自の「志」を確認して、その実現に向けて努力してほしい。

- 昨年、石川県の能登半島地震で被災し、かつ、避難所になった高校の校長先生の話聞いた。

地震後、学校には住民がガラスやドアを破壊して入り、教室だけでなく廊下や、校長室までも住民が避難していた。災害対応は、自助（一人一人の取組）・共助（地域や身近な人どうしの取組）・公助（行政の役割）の3つある。3つめの公助は市役所等の役目だが、市役所の職員も被災者であるので避難所の救援に来ることができず、初期は学校職員と地域住民で、自助と共助で対応するしかなかった。

電気は通ったが、ガスはだめ、水は不足し、シャワーやお風呂などはもってのほか。水は本当に大切である。下水道が壊れているので汚水を流せない。特にトイレが困った。毎日100人規模のトイレ処理をグラウンドや中庭にする。重労働、匂いもきつい。「当たり前」であったインフラのありがたさと、自助・共助の大切さを感じた、と話していた。

- 皆さんの家庭は、電気、ガス、上・下水道などのインフラが整っていると思う。また、食事作りや掃除・洗濯などは親御さんがやってくれている家庭が多いであろう。しかし、これらは本当に「当たり前」なのか？

立志式で、私は昔の日本では14歳くらいで元服して大人の仲間入りをした、という話をした。皆さんはその元服の年頃である。しかし、皆さんは自律して、大人の仲間入りにふさわしい行動をしているか？

災害時でなくても、普段から自助や共助の考えや行動は大切だと思う。家庭でも、家族の構成員の一人として、普段から自分でできること、すべきことはないだろうか？ 家族に頼りすぎていないか？ 改めて各自で考えてみてほしい。

- 下水道の話をしたので、次に、上水道の水源となる河川と水について

新潟市の水道水は、信濃川と阿賀野川を水源として6つの浄水場でつくられているとのこと。信濃川は長野県から360km以上、阿賀野川は福島県から約210kmの長さであり、この流域に降った雨などを私たちは水道水として利用している。

地図を見ると、阿賀野川は福島県から新潟県に入り、そのまま北西方向に進み日本海に達している。一方の信濃川は（長野県では千曲川というが）、そのまま北上して上越市付近で日本海へ流れ込めばいいのに、なぜか長野市付近から北東方向に曲がり、十日町、長岡、三条と新潟県を縦断して、新潟市で日本海に達している。不思議だと思いませんか？ この理由を調べてみてください。

- 上水道の元になる「雨」について

雨粒はどのような形をしているか、知っていますか？ いくつかの雨粒のイラストは（右図のように）いわゆる水滴（しずく）のイメージであり、上が尖って下が膨れている形が多い。しかし、実際の雨粒はこのような形をしていない。

各自、実際の雨粒の形がどうなっているか、調べてみてほしい。そして、なぜそのような形になるか、考えてみてください。



- 後半の2つは私から皆さんへの宿題です。身近な自然現象などに興味・関心を持ち、知的好奇心を高めてほしいと思う。

（長谷川 雅一）